

明解 歴史総合

内容解説資料

部分サンプル

歴総-706

# 指導資料・関連教材 カタログ

- 指導資料Webサポートコンテンツ付 ..... p.2
- 教科書準拠ノート ..... p.12
- デジタル教科書・教材 ..... p.14



 帝国書院

\*本冊子に掲載している内容は、一部変更となる場合があります。





(1) 指導用教科書

- ◆教科書本体の見開きページの縮刷版を中央に配置し、その周辺に解説を付した構成の指導用教科書です。
◆教科書掲載内容の解説はもちろん、発問例や板書例、図版解説なども掲載。この1冊で授業の要点を押さえます。

↓教科書 p.63-64 に対応したページの例

内容をCheck!

2部4章 アジア諸国の動揺と日本の開国

4 黒船の来航と日本の対応

読み解き 解答例 江戸幕府はオランダから、アヘン戦争による欧米の軍事力の脅威や、アメリカが武装したペリーを派遣することについての情報を得ていた。

解説 1843年の情報からイギリスの軍事力が強大であることが読み取れる。また、1852年の情報から、幕府は武装したアメリカ船の来航を知らされていたことが読み取れる。この2点の読み取りに、アメリカの軍事力への推論を加えたい。

図1 日本で描かれたアメリカ船

解説 黒船の来航により、新しい科学技術を前提とした軍事力の存在を民衆は驚きと興味をもって知ると同時に、対応に当たる幕府や武士階級の混乱ぶりが民衆に露見することになった。情報は瓦版や手紙を通じて全国に素早く伝播した。

本文 蘭学者たちのネットワーク

解説 知識人である蘭学者の多くは医者であり、1850年代から種痘普及のため、同じ流派の全国的なつながりをもったほか、地域のなかでつながりがあった。さらには教育や学問サークルなど、蘭学者以外の知識人同士の情報交換のネットワークができており、海外情報や政治情報まで情報共有がなされた。

本文 意見を幕政に反映させるための模索

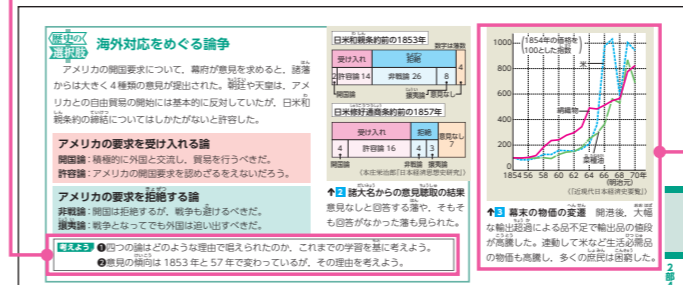
解説 当初、危機感をもった有志の大名は、縁戚関係や交友関係を駆使して幕府内への影響力を模索した。ペリー来航に際し、幕府は諸大名や旗本などからも意見を聴取した。決定権は幕府がもつとされたが、これを機に、外様大名などが政治参加への道を切りひらくこととなった。



4 黒船の来航と日本の対応

海外情報への対応 欧米の船が日本に近づくな、幕府は、オランダ風説書など外国からもたらされる情報や、西洋の地理書の翻訳、帰国した漂流民からの情報を通じて、ヨーロッパ諸国の世界観への認識を深めていた。アヘン戦争で大国の清がイギリスに敗れたことが清の商人などから日本に伝わるなか、幕府は1842年に新水給与令を出して米諸国との紛争を避ける一方、より一層の海防の強化を進めた。

日本の開国 ヨーロッパにて1848年からの動乱やクリミア戦争が起ること、アメリカがヨーロッパ各国の船を突いて日本を目指した。太平洋への国土拡大を達成したアメリカは、南京条約で開港した清との貿易における中継地点と、日本近海における通商のための補給地点を確保するため、日本を開国せよとペリーを派遣した。1853年、ペリーは浦賀沖に到着した。幕府は、アメリカ船の来航をすすんでオランダから通告されており、実力行使による対抗は難しいと判断して、開国を勧告するアメリカ大統領の国書を受け取った。その後、再び回答を聞きに来るといふペリーに備え、幕府は諸大名や下級の幕臣に意見を



幕末の物価の変遷

幕末の物価の変遷 幕末、大規模な輸出超過による米不足で輸出品の物価が高騰した。連動して米など生活必需品の物価も高騰し、多くの農民は困窮した。

幕府使節のアメリカ視察 海軍造船所の見学(1860年) 高貴な身分でさまざまな職工をする様子、自らも働くような姿をばらばらと見せ、幕臣に感心させた。一瞬の光景が見るものに百倍もできる。この機嫌を幕府でも思われることができれば、国益は計り知れないと思われ。佐賀藩の蘭学者 蘭学塾の設立 蘭学塾の設立 蘭学塾の設立 蘭学塾の設立

本時のねらいと学習課題

- 1. 欧米諸国に対して日本側が採った対応を、行動の主体(幕府と各藩)に着目して理解する。
2. 清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現する。
[章の学習課題]との対応 日本が「西洋の衝撃」に対してどう対応したのかを、行動主体に着目して理解したうえで後の時代への影響を考察することで、「西洋の衝撃」の歴史的意義について追究する材料を獲得させる。
[課題の解答例] 江戸幕府は、それまで行っていなかった諸大名や下級幕臣への意見の聴取および朝廷への報告をしたうえで、開国という決断をした。

確認・説明 解答例

- 確認 縮刷版上のマーカー部分を参照。
説明 清は抵抗して戦争を行ったのに対し、日本は開国して欧米を受容した。この違いは欧米諸国の軍事力などに対する認識の度合いに差があったことによる。
評価のポイント
1. 清と日本それぞれの対応を比較して相違点を説明している。
2. 史実を用いて、自分が挙げた相違点の理由を説明している。

板書例

●海外情報への対応 発問1
欧米の日本への進出情報 → 幕府や藩による対応
①江戸幕府の対応…オランダ風説書、帰国した漂流民など
・新水給与令の発布(1842年)…紛争回避+海防強化
アヘン戦争での清の敗北の影響
②各藩の対応…蘭学者のネットワーク
水戸藩…尊王攘夷思想の発生
佐賀・長州・薩摩藩…ヨーロッパの思想や技術導入

指導のポイント

- 発問1 江戸幕府や諸藩は、欧米諸国のアジア進出に対し、どのように考えていたのだろうか。
解答1 幕府は欧米諸国の軍事力に脅威を感じたのに対し、藩のなかには欧米諸国に対抗しようとするものもあった。
ポイント 江戸幕府と水戸藩・佐賀藩・薩摩藩の違いのように、欧米諸国に対する考え方には主体によって差があった。

●日本の開国 発問2

- ・アメリカの日本進出…対清貿易の中継点、捕鯨の補給基地
・1853年 ペリーが浦賀に来航…開国を勧告
→ 幕府が諸大名や幕臣に意見を求めて朝廷へ報告
→ 朝廷や有力大名の発言力強まる
・1854年 日米和親条約の締結…露・英とも同様の条約を締結
外国船の補給、漂流民保護など
→ アメリカがさらに自由貿易要請、開国・貿易の実施へ
・1858年 日米修好通商条約の締結…欧州諸国とも同様の条約
不平等項目…関税率の協定、領事裁判権の承認

発問2

発問2 アメリカの開国要求に対して幕府がとった行動は、それまでと何が違い、どのような意味があったのだろうか。
解答2 諸大名や下級の幕臣などに広く意見を求めて朝廷にも報告した。身分にかかわらず政治に対して意見をもちつきかけとなった。
ポイント 教科書p.63本文21行目以降の記述通り、それまで幕臣は幕府に対して政治的意見を表明することが許されていなかったにもかかわらず意見を求められたことにより、公議政体へ向けた端緒となった。

●開国の影響と近代化改革 発問3

- ・世界市場への参加 → 国内経済の混乱
生糸・蚕卵紙の輸出…国内での原材料不足
綿糸の輸入…綿関係産業に打撃
・近代化改革の実施…軍事力強化と人材登用で欧米に対抗
幕府：蕃書調所や海軍伝習所の設置
各藩：幕府：海外へ使節や留学生派遣

発問3

発問3 日本の開国は人々の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか。
解答3 世界市場へ参加した結果、国内経済は混乱し庶民の生活は苦しくなったが、同時に近代化改革も進められた。
ポイント
・欧米諸国への対応を、日本とほかのアジア諸国の共通点と相違点を確認する。
・欧米諸国の来航が日本の歴史において持つ意義を、中学校までに学習した明治時代の知識を踏まえ考察する。

指導資料
準拠ノット
デジタル教科書・教材

(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

① 授業スライド

内容を Check!

- ◆ オリジナル教材の作成にも便利な PowerPoint ファイルです。2023年4月からは Google スライド版もご利用いただけます。
- ◆ 教科書 1 見開きにつき 10~20 枚のスライドで構成しています。
- ◆ 色覚に特性のある生徒に配慮した白黒反転版も収録しています。

↓ 教科書 p.63-64 に対応したページの例

教科書 p.63~64

## 4 黒船の来航と日本の対応

2 部 近代化と私たち  
4 章 アジア諸国の動揺と日本の開国

**学習課題**

日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。

**考えるポイント**

1. 欧米諸国に対して日本側が採った対応を、行動の主体（幕府と各藩）に着目して理解しよう。
2. 清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現しよう。

**海外情報への対応 1**

Q. 江戸幕府や諸藩は、欧米諸国のアジア進出に対し、どのように考えていたのだろうか。

欧米の日本への進出情報  
→ 幕府や藩による対応

①江戸幕府の対応 史料へ  
…オランダ風説書、帰国した漂流民など

- ・ 1842年 新水給与令の発布  
紛争回避 + 海防強化
- アヘン戦争での清の敗北の影響

**海外情報への対応 2**

②各藩の対応  
…蘭学者のネットワーク

天皇を尊ぶ尊王  
+  
外交を排除する攘夷

水戸藩… 天竺思想の発生  
佐賀・長州・薩摩藩  
…ヨーロッパの思想や技術導入

**日本の開国 1**

Q. アメリカの開国要求に対して幕府がとった行動は、それまでと何が違い、どのような意味があったのだろうか。

- ・ アメリカの日本進出  
…対清貿易の中継点、捕鯨の補給基地
- ・ 1853年 ペリーが浦賀に来航…開国を勧告  
→幕府が諸大名や幕臣に意見を求め  
朝廷へ報告 資料へ 図2へ  
…朝廷や有力大名の発言力強まる

**日本の開国 2**

- ・ 1854年 神奈川条約の締結  
…露・英とも同様の条約を締結  
外国船の補給、漂流民保護など  
→アメリカがさらに自由貿易要請、開国・貿易の実施へ
- ・ 1858年 安政の条約の締結  
…欧州諸国とも同様の条約  
不平等項目…関税率の協定、領事裁判権の承認

**開国の影響と近代化改革 1**

Q. 日本の開国は人々の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか。

- ・ 世界市場への参加 → 国内経済の混乱
  - 生糸・蚕卵紙の輸出  
…国内での原材料不足 図3へ
  - 綿糸の輸入…綿関係産業に打撃

**開国の影響と近代化改革 2**

- ・ 参勤交代の実施  
…軍事力強化と人材登用で欧米に対抗
- 幕府：番書調所や海軍伝習所の設置  
各藩：幕府：海外へ使節や留学生派遣

**確認**

ペリーが日本へとやって来た理由を、本文から書き出そう。

**確認 解答**

ペリーが日本へとやって来た理由を、本文から書き出そう。

**説明**

ヨーロッパへの対応について、p.61~62の清と日本で、異なっている点とその理由を説明しよう。

**説明 解答例**

（解答例のテキスト）

**学習課題**

日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。

↓ 白黒反転版の例

**海外情報への対応 1**

Q. 江戸幕府や諸藩は、欧米諸国のアジア進出に対し、どのように考えていたのだろうか。

欧米の日本への進出情報  
→ 幕府や藩による対応

①江戸幕府の対応 史料へ  
…オランダ風説書、帰国した漂流民など

- ・ 1842年 新水給与令の発布  
紛争回避 + 海防強化
- アヘン戦争での清の敗北の影響



(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

② 授業プリント

内容を Check!

- ◆ オリジナル教材の作成に便利な Word ファイルです。
- ◆ 授業スライド (本冊子 p.6-7) の付せん部分を穴埋めにした授業用プリントです。

↓ 教科書 p.63-64 に対応したプリントの例 (教師用解答)

年 組 番/名前
2部 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国
4 黒船の来航と日本の対応

教科書 p.63~64

年 月 日

□ 学習課題

Q: 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。

< 学習のポイント >

(1) 欧米諸国に対して日本側が採った対応を、行動の主体 (幕府と各藩) に着目して理解しよう。

(2) 清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現しよう。

● 海外情報への対応

欧米の日本への進出情報 → 幕府や藩による対応

(1) 江戸幕府の対応…オランダ風説書、帰国した漂流民など

・ 1842年 [(1) 薪水給与令] の発布…紛争回避+海防強化

アヘン戦争での清の敗北の影響

(2) 各藩の対応…蘭学者のネットワーク

水戸藩… [(2) 尊王攘夷] 思想の発生

佐賀・長州・薩摩藩…ヨーロッパの思想や技術導入

● 日本の開国

・ アメリカの日本進出…対清貿易の中継点、捕鯨の補給基地

・ 1853年 [(3) ベリー] が浦賀に来航…開国を勧告

→ 幕府が諸大名や幕臣に意見を求め朝廷へ報告…朝廷や有力大名の発言力強まる

・ 1854年 [(4) 日米和親条約] の締結…露・英とも同様の条約を締結

外国船の補給、漂流民保護など

→ アメリカがさらに自由貿易要請、開国・貿易の実施へ

・ 1858年 [(5) 日米修好通商条約] の締結…欧州諸国とも同様の条約

不平等項目…関税率の協定、領事裁判権の承認

才登用で欧米に対抗

そう。

貿易における中継地点と、日本近海における捕

日本で、異なっている点とその理由を説明し

て欧米を受容した。この違いは欧米諸国の軍事

□ 学習課題

Q: 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。

例: 江戸幕府は、それまで行っていなかった諸大名や下級幕臣への意見の聴取および朝廷への報告をしたうえで、開国という決断をした。

(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

④ 特設ページワークシート

内容を Check!

- ◆ 特設「歴史に迫る！」に対応したワークシートです。
- ◆ 手軽にアクティブ・ラーニングができる簡易版と、読み解きの段階を丁寧に付した詳細版の2種類用意しています。

↓ 教科書 p.67-68 に対応したワークシートの例 (詳細版)

2部「近代化と私たち」4章「アジア諸国の動揺と日本の開国」教科書 p.67~68

年 月 日 年 組 番/名前

### 歴史に迫る！ 2 「幕府の対外交渉をどう評価するか」

課題0 検証 A~D に取り組む前に、どちらの評価が妥当だと考えるか、現時点での考えを明らかにしておこう。

妥当だと考える評価		そう考える理由	
-----------	--	---------	--

の仮説  
学習課題へ

↓

で考察  
検証 A~D

検証A. 複数の資料を比べ、共通点を明らかにすることを通して考えてみよう p.9

課題1 資料①、②を読んで、正しいと思う方に○をしよう

幕府は海外の情報を、	得ていた	得ていなかった	
このため、海岸の防備が、	必要と考えた	不要と考えた	

課題2 資料①、②の情報を幕府はどのように得ていたか、教科書 p.63 を基に考えてみよう。

資料	情報源
資料①	
資料②	

検証B. 立脚する視点を変えることを通じて、資料を多角的に考察してみよう p.8

課題3 資料③の条文について、幕府の立場から評価し、下の表に分類してみよう。

問題となる条文だと思う		評価すべき条文だと思う	
条文番号	そう思った理由	条文番号	そう思った理由

検証C. 複数の資料を関連させ、因果関係について考えてみよう p.9

課題4 教科書 p.62 や、p.64 図②も参考にして、積極開国派と消極開国派がハリスの演説をどう捉えるか考えてみよう。

積極開国派	
消極開国派	

開国」教科書 p.67~68

表現してみよう。

察してみよう。 p.8

に分類してみよう。

評価すべき条文だと思う

番号 そう思った理由

けることで、歴史に迫ろう。

こなる」と考える条文はどれか、表現してみよう。

こなる」と考える条文はどれか、表現してみよう。

評価2の根拠になる」と考える条文だと思う

番号 そう思った理由

質問3 あなたはこの幕府の対外交渉をどう評価するか、学習課題での考えを再検証してみよう。評価1と評価2の根拠となる条文にもそれぞれ触れて、説明してみよう。




(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

③ 見通し・振り返りシート

内容を Check!

- ◆ 新課程で求められる、単元ごとの指導と評価に対応しています。
- ◆ 自己評価のための単元ポートフォリオとしても活用できます。

↓ 教科書第2部4章「アジア諸国の動揺と日本の開国」の例

見通し・振り返りシート		2部4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		年 組	番 / 名前
学習課題 「近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。」					
1 「西洋の衝撃」と西アジアの変化 p.57-58	2 南・東南アジアの植民地化 p.59-60	3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 p.61-62			
学習課題: イスラム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。	学習課題: どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。	学習課題: 清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。			
解答:	解答:	解答:			
4 黒船の来航と日本の対応 p.63-64	5 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 p.65-66				
学習課題: 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。	学習課題: 日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。				
解答:	解答:				
学習課題の解答:	(国・扶) 評価:	(思・判・表) 評価:	(主) 評価:		
この章を通じて感じたこと	指導者コメント欄				
この章の学びから新たに浮かんだ問いを表現しよう					

※評価は2ページ目のルーブリックを活用しよう。

ルーブリック評価表	
この基準を参考に自己評価してみよう。	
「主体的に学習に取り組む態度」の観点	
1	欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとした。
2	欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について気づくことができた。
3	欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について気づくことができなかった。

(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

⑨ 教科書紙面

内容を Check!

- ◆ 教科書全ページの PDF データです。スクリーンなどに投影することで、教科書を大きく提示しながら授業ができます。

↓ 教科書 p.63-64 の例

### 4 黒船の来航と日本の対応

1843年の情報  
オランダから幕府にもたらされた情報  
1852年の情報  
幕府は、オランダ風説書など外国からもたらされる情報や、西洋の地理書の翻訳、帰国した漂流民からの情報を通じて、ヨーロッパ諸国の世界進出への認識を深めていた。

幕府は、長崎のオランダ商館長に提出させた、海外事情に関する報告書(「年表」)を、幕府内閣に提出させた。報告書や長崎藩では、実力のある下級武士の登用も行われた。これらの改革の成功は、軍事力の強化につながり、しだいに政局を動かすようになっていった。

幕府は、1842年に「新嘉坡参事」を出して欧米諸国との紛争を避ける一方、より一層の海防の強化を進めた。

また、海外情報は蘭学者たちのネットワークにより日本各地にも伝わるようになり、海外に高い関心を持つ人々も現れるようになった。水戸藩では尊王思想と外国を避けようとする攘夷思想が結び付いて尊王攘夷思想が生み出された。佐賀藩や薩摩藩ではヨーロッパの思想や技術を積極的に吸収し、その進出に備えようという動きが強まった。また、これらの中で、意見を幕政に反映させるための模索も始まっていた。

ヨーロッパにて1848年からの動乱やクリミア戦争が起ること、アメリカがヨーロッパ各国の艦を突いて日本を目指した。太平洋への国土拡大を達成したアメリカは、南米大陸で開港した清との貿易における中継地点と、日本近海における通商のための補給地点を確保するため、日本を開国させようとしてペリーを派遣した。

1853年、ペリーは浦賀沖に到着した。幕府は、アメリカ船の来航をすでにオランダから通告されており、実力行使による対抗は難しいと判断して、開国を勧告するアメリカ大統領の国書を受け取った。その後、再び回答を聞きに来るといってペリーに備え、幕府は諸大名や下級の幕臣に意見を

### 海外対応をめぐる論争

アメリカの開国要求について、幕府が意見求めるも、諸藩からは大きく4種類の意見が出された。朝廷や天皇は、アメリカとの自由貿易の開始には基本的に反対していたが、日米和親条約の締結についてははたはたしと許容した。

アメリカの要求を受け入れる論  
積極的に外国と交流し、貿易を行うべきだ。  
反対論: 積極的に外国と交流し、貿易を行うべきだ。  
賛成論: アメリカの開国要求を認めるべきでないだろう。

アメリカの要求を拒絶する論  
開国は拒絶するが、戦争も避けるべきだ。  
反対論: 戦争も避けても外国は進出してくる。  
賛成論: 戦争も避けても外国は進出してくる。

幕府の意見  
幕府は、開国を拒絶するが、戦争も避けるべきだ。意見なしと回答する藩や、そもそも回答がなかった藩も見られた。

幕府の意見  
幕府は、開国を拒絶するが、戦争も避けるべきだ。意見なしと回答する藩や、そもそも回答がなかった藩も見られた。

幕府使節のアメリカ視察  
海軍造船所の見学(1860年)  
幕府の命令を受け、1863年からイギリスに密航した5人は、帰国後に長崎藩の近代化で活躍した。

幕府の命令を受け、1863年からイギリスに密航した5人は、帰国後に長崎藩の近代化で活躍した。

(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

⑩ 教科書本文

内容を Check!

- ◆ プリントの作成などに便利な教科書のテキストデータです。

↓ 教科書 p.63-64 の例

教科書本文のスクリーンショット。黒船の来航と日本の対応に関するテキストが読み取れる。

海外情報への対応  
欧米の船が日本に近づくなか、幕府は、オランダ風説書など外国からもたらされる情報や、西洋の地理書の翻訳、帰国した漂流民からの情報を通じて、ヨーロッパ諸国の世界進出への認識を深めていた。

幕府は、長崎のオランダ商館長に提出させた、海外事情に関する報告書(「年表」)を、幕府内閣に提出させた。報告書や長崎藩では、実力のある下級武士の登用も行われた。これらの改革の成功は、軍事力の強化につながり、しだいに政局を動かすようになっていった。

幕府は、1842年に「新嘉坡参事」を出して欧米諸国との紛争を避ける一方、より一層の海防の強化を進めた。

また、海外情報は蘭学者たちのネットワークにより日本各地にも伝わるようになり、海外に高い関心を持つ人々も現れるようになった。水戸藩では尊王思想と外国を避けようとする攘夷思想が結び付いて尊王攘夷思想が生み出された。佐賀藩や薩摩藩ではヨーロッパの思想や技術を積極的に吸収し、その進出に備えようという動きが強まった。また、これらの中で、意見を幕政に反映させるための模索も始まっていた。

ヨーロッパにて1848年からの動乱やクリミア戦争が起ること、アメリカがヨーロッパ各国の艦を突いて日本を目指した。太平洋への国土拡大を達成したアメリカは、南米大陸で開港した清との貿易における中継地点と、日本近海における通商のための補給地点を確保するため、日本を開国させようとしてペリーを派遣した。

1853年、ペリーは浦賀沖に到着した。幕府は、アメリカ船の来航をすでにオランダから通告されており、実力行使による対抗は難しいと判断して、開国を勧告するアメリカ大統領の国書を受け取った。その後、再び回答を聞きに来るといってペリーに備え、幕府は諸大名や下級の幕臣に意見を

(2) 指導書 Web サポートコンテンツ

⑪ 教科書掲載図版〈カラー/モノクロ〉

内容を Check!

- ◆ プリントの作成などに便利な教科書掲載図版のデータです。
- ◆ カラーとモノクロの2種類をご用意しています。

### ↑ 教科書 p.58 図④ 〈カラー〉

オスマン帝国の最大領域 (17世紀後半)  
実効支配地域の縮小  
1812年まで  
1881年まで  
1914年まで  
1914年のオスマン帝国

### ↓ 教科書 p.58 図④ 〈モノクロ〉

オスマン帝国の最大領域 (17世紀後半)  
実効支配地域の縮小  
1812年まで  
1881年まで  
1914年まで  
1914年のオスマン帝国



# 明解 歴史総合ノート

定価：680円(本体618円+税)  
判型：B5判 ページ数：154ページ  
内容：教科書完全準拠の見開き構成で授業をサポートします。  
デジタル版もご用意しております。(→本冊子 p.15)

※ご採用校には、教師用赤刷り解答・解説を進呈いたします。  
※『明解 歴史総合 指導資料 Web サポートコンテンツ付』をご購入いただくと、指導書 Web サポートで準拠ノートの Word ファイルをダウンロードいただけます。

↓教科書 p.63-64 に対応したページの例 (教師用赤刷り解答・解説)

## 2部4章 アジア諸国の動揺と日本の開国

### 4 黒船の来航と日本の対応

【教科書p.63~64】

**学習課題** 日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。

**読み解き** 幕府にとって、アメリカ船の来航は突然の出来事だったのだろうか。

教科書p.63史料「オランダから幕府にもたらされた情報」の1843年の情報には、日本の隣国である(ア 清)は、(イ イギリス)軍に何度も打ち負けた、とあることから、幕府は(ウ (例)イギリス軍は強い)と予想することができたと考えられる。また、1852年の情報には、日本と交易を結ぶために(エ アメリカ合衆国)の政府が指揮官「ペリリ」を送り、その船には陸軍および攻城の(オ 武器)が積み込まれているとあることから、幕府は(カ (例)アメリカの軍艦が日本に来る)と予想することができたと考えられる。

**読み解きの解説**：1843年の情報からイギリスの軍力が強大であることが読み取れる。また、1852年の情報から、幕府は武装したアメリカ船の来航を知らされていたことが読み取れる。この2点の読み取りに、アメリカの軍勢力への推論を加えたい。

**チェック** 空欄に適語を記入してまとめよう。

#### ■海外情報への対応

(a) 外国からもたらされる情報

- ・(① オランダ風説書) … 長崎のオランダ商館長に提出させた報告書。
- ・西洋の地理書の翻訳、帰国した漂流民からの情報など。
- ・清の商人 … (② アヘン戦争) で清がイギリスに敗れたことが伝わる。
- (③ 薪水給与令) の発布 (1842年) … 遭難した船に燃料・食料を給与。  
欧米諸国との紛争を避け、海防を強化。

(b) 各藩の反応

- ・海外情報は蘭学者のネットワークで日本各地にも伝わる。
- ・水戸藩 … 天皇を尊び、外国を退けようとする(④ 尊王攘夷)思想が生まれる。
- ・佐賀藩・薩摩藩 … ヨーロッパの思想や技術を積極的に吸収。
- 意見を幕政に反映させるための模索も始まる。

#### ■日本の開国

(a) アメリカの日本進出

- ・対清貿易の中継地点と、日本近海における捕鯨の補給地点を確保するため、日本を開国させようとする。
- (⑤ ペリリー) を派遣。
- ・⑤は1853年(⑥ 浦賀)沖に到着し、開国を勧告する国書を幕府へ渡す。

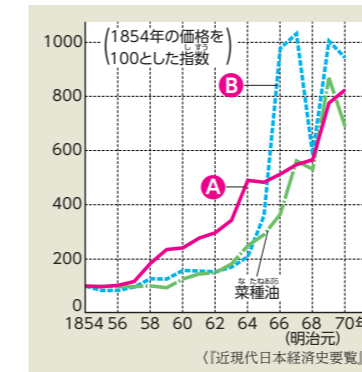
(b) 幕府の対応

- ・諸大名や下級の幕臣へ意見を求め、(⑦ 朝廷)にも報告 → 身分を超えて政治への関心高まる。

条約	締結年	主な内容
(⑧ 日米和親条約)	1854年	外国船の補給と(⑨ 漂流民)の保護。 → 露・英などとも同様に結ぶ。
(⑩ 日米修好通商条約)	1858年	関税自主権が無い。(⑪ 領事裁判権)の承認など。 → ヨーロッパ諸国とも同様に結ぶ。

#### ■開国の影響と近代化改革

経済・社会の変化	世界市場への参加 輸出：(⑫ 生糸)や蚕卵紙の大量輸出により国内の絹織物業は原料不足になった。 海外で人気の茶を輸出。 輸入：良質で安価な(⑬ 綿糸)の輸入で綿関係産業が混乱。 → 国内経済の混乱、庶民生活に打撃。
政治の変化	(⑭ 近代化改革)の実施 … 軍事力強化と人材登用を行い欧米諸国へ対抗。 幕府：(⑮ 蕃書調所)の設置 … 欧米の学問を学ぶ。 (⑯ 海軍伝習所)の設置 … 海軍技術を学ぶ。 幕府・薩摩藩・長州藩：海外へ使節や留学生を派遣。



**チャレンジ** 左の幕末の物価の変遷を表したグラフのうち、AとBはそれぞれ米と絹織物のいずれかを示している。このうち、絹織物はどちらか、理由とともに答えよう。

**絹織物のグラフ：A**

**理由**：(例)貿易開始後に生糸などが大量に輸出され国内の絹織物業は原料不足となったという教科書の記述から、1858年ですでに価格が上昇しているAが絹織物である。

#### 学習課題をもとに「確認」「説明」に答えてみよう。

- 確認** ペリリーが日本へとやってきた理由が書かれた本文に下線を引こう。教科書p.63 15~17行目「南京条約で開港した…補給地点を確保するため」
- 説明** ヨーロッパへの対応について、教科書p.61~62の清と日本で、異なっている点とその理由を説明しよう。  
(例)清は抵抗して戦争を行ったのに対し、日本は開国して欧米を受容した。この違いは欧米諸国の軍勢力などに対する認識の度合いに差があったことによる。

#### 【ノート欄】

##### 説明の評価のポイント

1. 清と日本それぞれの対応を比較して相違点を説明している。
2. 史実を用いて、自分が挙げた相違点の理由を説明している。

##### チャレンジの解説

物価が上昇しているのはA・Bどちらかに着目させる。絹織物が先に高騰していることは、教科書p.64図3のキャプションで「開港後、大幅な輸出超過による品不足で輸出品の値段が高騰した。連動して米などの生活必需品も高騰し…」からも読み取れる。

# 学習者用デジタル教科書 明解 歴史総合

定価：アプリ版1,100円(本体1,000円+税) 品番：59080 / クラウド配信版1,320円(本体1,200円+税) 品番：59081  
 内容：(1) 教科書紙面(紙の教科書と同内容)  
 (2) 拡大・縮小、書き消し、保存機能  
 (3) 特別支援教育対応機能として、リフロー表示\*や総ルビ、白黒反転、読み上げの機能を搭載。  
 ※リフローは、書体や文字サイズ、行間、余白などを自由に変更して表示する機能です。

# デジタル準拠ノート 明解 歴史総合

定価：980円(本体891円+税) 品番：59041 / セット版(書籍+デジタル)1,480円(本体1,345円+税) 品番：59141  
 内容：(1) 教科書の準拠ノートをタブレット用に再構成、正誤の自動判定機能を搭載しています。  
 (2) 資料の読み解き問題を豊富に収録しています。  
 (3) 先生用管理ページで、生徒の学習進捗状況を確認できます。  
 (4) 作問ツールで先生が問題を作成、配信できます。

**①拡大・縮小機能**  
画面の拡大・縮小ができます。

**②ペン機能**  
書き込みができます。

↓教科書 p.113-114 に対応した学習者用デジタル教科書

**③図形貼り付け機能**  
直線を描いたり、四角囲みなどを貼り付けたりできます。

**④文字入力機能**  
テキストボックスで文字入力ができます。

**⑤リンク機能**  
任意のウェブサイトなどへのリンクを設定できます。

## 生徒向け機能

- ### デジタルならではの新機能
- ◆タブレットに直接入力することで解答できます。
  - ◆解答は自動で正誤判定されるので、先生のご負担軽減にもつながります。
  - ◆繰り返し何度も演習することができるため、基礎知識の確実な定着が図れます。

- ### オリジナルの「見方・考え方問題」
- ◆タブレット端末の特長を生かした、画面をタップしたり多数の資料を参照したりして解答する問題も収録。資料への書き込み問題なども自動で正誤判定されます。
  - ◆書籍版の準拠ノートには未収録の、資料の読み解きに焦点を当てた「見方・考え方問題」にも取り組めます。

## 先生向け機能

- ◆先生用管理ページには、「観点別レーダーチャート」(左)など、生徒の学習状況を「見える化」できる機能が充実。
- ◆既存の問題ではなく、先生が独自に問題を作れる「作問ツール」(右)も収録。出題形式や評価軸も任意に設定できるほか、「指導書 Web サポート」(別売、→本冊子 p.11) 収録の図版データを取り込んで作問に活用することもできます。



←リフロー表示、総ルビ、白黒反転を行った画面



# 令和5(2023)年度以降用 新課程用教科書のご案内

教科書の内容、指導資料、関連教材、  
シラバス作成用資料等、  
新課程教科書に関する  
あらゆる情報を掲載！



高等学校新課程情報サイト▲

地図 -702

## 新詳高等地図

新しくて、詳しい！  
高等学校地図帳の  
決定版



AB判 194ページ

地図 -703

## 標準高等地図

見やすく、  
使いやすい！  
大判地図帳



A4判 172ページ

地総 -703

## 高等学校 新地理総合

暮らしが見える！  
“今”がわかる！  
技能が身に付く！  
地理総合教科書の決定版



AB判 238ページ

地総 -707

## 高校生の地理総合

おもしろい！わかりやすい！  
ためになる！  
暮らしが見える教科書



AB判 234ページ

歴総 -706

## 明解 歴史総合

おもしろい！わかりやすい！  
ためになる！  
「世界史×日本史」  
新しい歴史に出会える教科書



AB判 238ページ

公共 -707

## 高等学校 公共

社会がわかる！  
課題と向き合う！未来をつくる！  
社会に参画する  
力を養う教科書



AB判 238ページ

地探 -702

## 新詳地理探究

新しい、詳しい、  
理解しやすい！  
地理探究教科書の決定版



B5判 346ページ

世探 -703

## 新詳 世界史探究

通史と同時代史を  
バランスよく記述！  
現代世界の成り立ちが  
わかりやすい教科書



B5判 366ページ